

2010 年度夏学期 総合科目一般 (D. 人間環境一般)

世界の **水** 安全保障と 日本の貢献 問題解決へ向けた「水の知」

21 世紀は人口増加、経済規模の急拡大と気候変動に伴い、世界で水をめぐり紛争が起こるとさえ言われています。その一方で、水と衛生分野への日本の ODA 実施額は世界最大であり、最近では政府の支援のもとで日本企業も海外に向けた水ビジネス展開を目指しています。

このように、水をめぐって、日本と世界の関係がより密接で複雑になる中で、日本の政府・企業・個人が世界の水の安全保障に貢献するためには、より積極的で戦略的な思考が必要です。しかし、世界の様々な地域で水に関する利害は錯綜し、水を管理する実務は多岐にわたっている中で、水に関する「知」は様々な分野に分散しています。

そこで、水問題解決に向けた分野・組織横断的な知識体系を統合的に学ぶため、世界の水問題を概観するとともに、水に関連する各分野の第一線の研究者・実務者たちに話題提供をいただきながら講義を行います。

本講義に参加する学生は、文理、学年を問いません。あらゆる分野を志す学生の参加を歓迎します。

講義概要

講義名称：世界の水安全保障と日本の貢献 ～問題解決へ向けた「水の知」～
(総合科目一般 D. 人間環境一般)

対象：学部 1、2 年生

担当教員：滝沢 智 (工学部 都市工学科、総括寄付講座「水の知」(サントリー) 兼担)

お問い合わせ：村上 道夫 (総括プロジェクト機構「水の知」(サントリー) 総括寄付講座)
michio@env.t.u-tokyo.ac.jp

2010 年度 夏学期 (4 月 9 日開講)
金曜 5 限 (16:20 ~ 17:50)
1 号館 105 教室

講義スケジュール

第 1 部：世界の水問題と水の安全保障

- 第 1 回 (4 月 9 日) 「世界の水問題と気候変動」
沖 大幹 (生産技術研究所)
- 第 2 回 (4 月 16 日) 「水を巡る国家間の確執と協調」
中山 幹康 (新領域創成科学研究科)
- 第 3 回 (4 月 23 日) 「世界の水と衛生問題」 滝沢 智 (工学系研究科)
- 第 4 回 (5 月 7 日) 「気候と水循環の変動への適応を支える科学技術」
小池 俊雄 (工学系研究科)
- 第 5 回 (5 月 14 日) 「世界に向けた日本の水戦略」
吉村 和就 (Global Water Japan 代表)

第 2 部：日本の貢献 (I) ～公民連携と民間企業・NGO の役割～

- 第 5 回 (5 月 21 日) 「総合商社による海外事業」
西村 弘 (三菱商事 水・環境ソリューションユニット)
- 第 6 回 (6 月 4 日) 「横浜市水道局の国際協力活動」
佐藤 千鶴 (横浜市水道局)

- 第 7 回 (6 月 11 日) 「途上国における地下水問題とその解決に向けて」
徳永 朋祥 (新領域創成科学研究科)
- 第 8 回 (6 月 18 日) 「世界の水市場に向けた企業戦略」
芦刈 俊彦 (サントリーホールディングス株式会社 水科学研究所長)

第 3 部：日本の貢献 (II) ～日本の ODA と「水の知」の活用～

- 第 10 回 (6 月 25 日) 「途上国の水と衛生の改善と ODA の役割」
橋本 和司 (八千代エンジニアリング株式会社)
- 第 11 回 (7 月 2 日) 「世界の森林管理と水資源の保全」
蔵治 光一郎 (農学生命科学研究科)
- 第 12 回 (7 月 9 日) 「開発途上国の住居と水・衛生」
城所 哲夫 (工学系研究科)
- 第 13 回 * (7 月 14 日) 「日本の川文化と今後の治水のあり方」
大熊 孝 (NPO 法人新潟水辺の会代表、新潟大名誉教授)

※最終回のみ水曜日開講となります。ご注意ください。